

# 口之島



## INFORMATION

十島村役場 口之島出張所

☎ 09912-2-2229

### 【宿泊施設】

ふじ荘 ☎ 09912-2-2478

くろしおの宿 ☎ 09912-2-2410

松元荘 ☎ 09912-2-2411

はまゆう荘 ☎ 09912-2-2477

太陽荘



### セラナマ温泉



トカラ列島の最北端、口之島の南端に位置する燃岳の麓にある広葉樹林に囲まれた自然豊かな温泉保養施設です。露天・屋内両方の温泉を楽しむことができます。集落からはおよそ、9kmのところがあり、車で20分、徒歩では2時間かかります。なお、入浴される際は、役場出張所から鍵を借りる必要があります。

【効能】神経痛、筋肉痛、痔疾、冷え性などに効果あり。  
【泉質】硫酸塩泉

### 口之島フリイ岳展望施設



太平洋戦争敗戦後、フリイ岳以南が占領軍下におかれるなど、日本の歴史的にも重要な意味を持つ場所。晴れた日には屋久島や三島村などを一望できます。



### 野生牛



口之島は、日本でも唯一の純血種の黒毛和牛である野生牛が息息する地域です。燃岳付近の原生林では多くの野生牛を見かけます。また、生息地に入る時は必ず柵をしめてお入りください。野生牛はおとなしく臆病です。刺激を与えないようにしてください。

### 平瀬海水浴場



西之浜漁港近くにある、自然海岸を利用した海水浴場で、特に夏場は家族連れなどでにぎわいます。潮の干満によっては魚と泳ぐこともできます。トイレ、シャワー施設完備です。

### カワ(湧き水)



口之島集落の中心に大きなガジュマルの木があり、その下に泉があります。今でもこんこんと湧く澄んだきれいな水は、島民の憩いの場となるとともに生活用水としても利用されています。夏場などは、ひんやりとしたカワのそばで涼むのもおすすめです。

### タモトクリ



口之島の固有種で、他の種類のクリと違い、花は天を向いて開花し、香りが強い花です。名前の由来は平家の落人が種を着物の袂に入れて持って来た説や球根を着物の袂に入れて持ち帰ったからとも言われています。

# 中之島

NAKANOSHIMA

## INFORMATION

十島村役場 中之島出張所

☎ 09912-2-2101

### [宿泊施設]

大喜旅館 ☎ 09912-2-2110

なごらん荘 ☎ 09912-2-2201

海游倶楽部 ☎ 09912-2-2119

中之島荘 ☎ 09912-2-2078



### 鹿児島県天然記念物トカラウマ



西洋種の影響を受けていない小型の在来種で、鹿児島県の天然記念物にも指定されています。明治30年ごろ喜界島から宝島に移入され、戦後になりトカラ馬と呼ばれるようになりました。現在、トカラ列島では、中之島と宝島で飼育されています。

### ヤルセ灯台



ジンニヨム岳を背に、牧場の奥を進むと灯台はあります。牧場の柵を越え、しばらく歩くと、絶景の撮影ビューポイント。敷地内を左手に行くと、七ツ山海岸線と御岳や口之島が見渡せます。また灯台下は磯釣りのポイントにもなっています。

### 西区温泉・東区温泉



両温泉とも中之島海岸線沿いにあり、乳白色のミョウバン・硫黄・塩分を含んだ天然温泉です。波音をバックにゆったりと、身も心も癒されます。

【入浴料】お気持ち 【泉質】硫黄泉  
【効能】神経痛、筋肉痛、痔疾、冷え性

### 中之島天文台(要予約)



カセグレン式60センチ反射望遠鏡です。一度にたくさんの方が星を見ることが出来るモニターを装備しており、県内外からは天文マニアばかりではなく、多くの人々もやってきます。

### 【問い合わせ・予約先】

天文台・歴史民俗資料館 ☎09912-2-2338  
十島村教育委員会 ☎099-227-9771

### 七ツ山海岸



ヤルセ灯台へ向かう道路の途中で見ることが出来ます。上から見る海の色は、とても澄んで美しい鮮やかなコバルトブルーです。奥には活火山でもある御岳(おたけ)を望むこともできる、島でも随一の撮影ビューポイントです。また、道路は狭いので、対向車に注意してください。

### 御池(底なし沼)



七ツ山方面へ向かう途中にある底なし沼と呼ばれる沼です。鬱蒼とした森に囲まれた御池は、昼間でも薄暗く神秘的です。

### 奇岩セリ岬



足場が悪いので注意

### 御岳



島の中北部にそびえるトカラ列島最高峰の御岳(979m)は登山もでき「トカラ富士」の愛称にふさわしい美しい稜線の山です。



# 平島



## INFORMATION

十島村役場 平島出張所

☎ 09912-2-2353

### [宿泊施設]

たいら荘 ☎ 09912-2-2029

大峰荘 ☎ 09912-2-2025

平和荘 ☎ 09912-2-2006



平家の穴



東之浜の海岸沿いを約15分ほど歩いていくと、平家伝説ゆかりの史跡と言われる大きな洞窟があります。ここはかつて平家の落人が、都からの追手を監視するため作った穴だと言われています。洞窟の上は崩れやすいので、特に雨の日などは注意してください。

甌穴(おうけつ)



東之浜港沿いの海岸を、10分程歩くと海沿いに大きな潮溜まりが見えてきます。この変わった潮溜まりは、岩のくぼみに入っていた小石が、満潮時流れの速い潮によりぶつかることによって、くぼみの岩が徐々に割れ、やがて年月をかけてくぼみ広げ、割れた大きな岩のカドが徐々に取れ、丸くなったと言われています。

東之浜海岸



海水浴ができます。沖は流れが速いので、泳ぐ際は注意してください。トイレ・シャワー施設もあります。

東之浜港



集落手前の道路を車で15分ほど走らせませす。この付近には、平島の主な観光スポットがあります。

ガジュマルの古木



集落のあちこちで見られるガジュマルは十島村全体でも多く見られますが、このガジュマルは樹齢が、1000年を超えと言われています。これまでずっと平島の歴史を見守り、今もなお生き続ける強さと生命力を感じさせます。

# 諏訪之瀬島



## INFORMATION

十島村役場 諏訪之瀬島出張所

☎ 09912-2-2162

### [宿泊施設]

民宿 ヤマキ ☎ 09912-2-2316

浜原 荘 ☎ 09912-2-2317

民宿 御岳 ☎ 09912-2-2590



マルバサツキ



マルバサツキは、横当島を除くトカラ列島全域をはじめ屋久島、開聞岳などに分布しますが、中之島や諏訪之瀬島のような大群落は他には類がありません。特に諏訪之瀬島では、海岸から山頂付近まで分布し、低地では5~6月、標高400mを超える高地では、7月~8月にかけて乱れんばかりに咲き、一面ピンクのお花畑と化します。

空港跡地(場外離着陸場)



かつてここは、リゾートアイランドとして、開発された時のなごりで空港が残っています。今は緊急用ヘリポートとして主に使われています。切石港から南側へ、車で約10分程度走り、発電所のそばにあります。

藤井富伝翁の墓



藤井富伝翁は文政10年(1827)に奄美大島に生まれました。文化10年(1813)の御岳の大噴火により、無人島になった諏訪之瀬島の開拓をするために、明治9年(1876)に来島しました。多くの困難や苦労を克服して、現在の島の基盤を築きあげました。富伝は、明治37年(1904)2月23日自ら開墾した島で生涯を閉じました。

ナハ浜(潮見崎)



潮見崎へ向かう道を歩くと、やがて小さな小道が見えてきます。地元の方が整備した遊歩道を抜けると、目の前に砂浜と岩肌が見えてきます。この海岸は潮溜まりでは小さな魚や貝類などの自然観察もでき、泳ぐこともできます。



# 悪石島



AKUSEKIJIMA

## INFORMATION

十島村役場 悪石島出張所

☎ 09912-3-2063

### [宿泊施設]

西 庄 ☎ 09912-3-2173

さかもと庄 ☎ 09912-3-2032

南海庄 ☎ 09912-3-2101



### 対馬丸慰霊碑



昭和19年8月22日、沖縄の子供たち700人と一般客1,000人を乗せた疎開船「対馬丸」が悪石島沖でアメリカ軍潜水艦に撃沈されました。戦争で亡くなった多くの犠牲者の方々への供養と、戦争の残酷さを忘れないように、海が見渡せるこの地に慰霊碑が建てられました。その慰霊碑には、今も住民による献花が絶えることがありません。

### 海中温泉



やすら浜港から徒歩で約15分程度の海岸にある海中温泉は、岩に温泉マークのある所が目印です。冷たい海水と、海中から湧く熱いお湯が交ざりあうことによって、適温になります。波の高さや潮の干潮を見はからって入ります。また、波音を聞きながら温泉につかることによって、身も心も癒されます。また入られる際は、水着を着用して下さい。

### 砂蒸し温泉



キャンプ場の敷地内にある、地熱を利用した天然砂蒸し風呂です。かなり高温になるので、砂を上からかけるのではなく、砂場に毛布を敷いて横になります。体の芯から温まり、血流がよくなることによって、健康ばかりでなく、美容効果も期待できます。

【入浴料】無料

### 湯泊温泉公園



やすら浜港から、徒歩で約20分程のところに広場があります。敷地内は芝生になっており、テントでのキャンプ可能です。また近くには、砂蒸し温泉や温泉施設もあり、とても便利です。

### 自然遊歩道



キャンプ場近くにある自然遊歩道には、亜熱帯性植物のガジュマルや、ピロウ、クワズイモなどがまるでジャングルのように鬱蒼と繁っています。奥まで続く小径を進んでいくと、池がありそこは南白石灰の生息地域にもなっています。

### ノンゼ岬



上集落から車でピロウ山方面へ、さらに女神山を右手に進みます。やがて岬の目印でもある白い灯台が見えてきます。この場所は諏訪之瀬島などが、一望できるビューポイントとなっています。※牧場の中を通っていきます。

# 小宝島

KODAKARAJIMA

## INFORMATION

十島村役場 小宝島出張所

☎ 09912-4-2001

### [宿泊施設]

湯泊荘 ☎ 09912-4-2221

民宿いこいの森 ☎ 09912-4-2798

民宿パパラギ ☎ 09912-4-2066



### 小宝島全景



まるで妊婦さんが横たわっているようなこの島は、名前の通り“子宝に恵まれる”という伝説があります。右の小さな岩山はうね神、左の大きな山は竹の山です。

### 湯泊温泉(露天風呂)



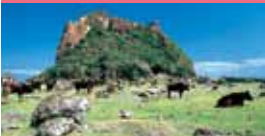
潮騒を聞きながら楽しめる海辺の開放的な混浴露天風呂です。コンクリートで固められた3つの湯溜めは、それぞれの温度が違います。手前が高温で2番目は適温、奥がぬるめです。お好みの湯船で。

【泉質】硫黄・塩化物泉

【効能】神経痛、筋肉痛、冷え性、慢性皮膚病、やけどなど

【入浴料】無料

### うね神と牛(南風原牧場)



隆起サンゴでできたこの島では、あちこちで奇岩を見かけます。その中でも、小宝島のシンボルでもあるうね神と言われる岩山は、まるでこの島を見守る神のような存在感です。

### 赤立神海水浴場



小宝島港を上って、右へ50m程行った所の「海水浴場」標識に従って行くとたどり着きます。サンゴ岩でできた海水浴場には、砂浜はありませんが、透明度が高いので、シュノーケリングなどが楽しめます。また浅い所では、魚や貝などを観察できます。奥には奇岩の赤立神もあり、子供も大人も楽しめる海水浴場です。シャワー・トイレ施設も新たに整備し、利用しやすくなりました。

### 舂(はしけ)



昭和8年、鹿児島本土と十島村の各島を結び初めての定期船「十島丸」が就航しました。当時は、どの島にも定期船が接岸できる港はなく、船を沖合いに停泊させ、舂(はしけ)を利用して人の乗降や荷物の積み下ろしを行っていました。七島灘の荒波の中での乗降は、本船から舂まで飛び移らなければならず大きな危険を伴うものでした。それから50数年の間に、各島に定期船が接岸できる港が整備されていきました。そして平成2年4月10日、小宝島港にも村営定期船「としま」が接岸し、島の住民は国内の定期航路では最後まで続けられていた舂作業から解放されました。ここに展示している2隻の通船はその当時まで使用されていた日本で最後の舂である小宝丸(しょうほうまる)です。



# 宝島

TAKARAJIMA



## INFORMATION

十島村役場 宝島出張所

☎ 09912-4-2129

### [宿泊施設]

民宿サンゴ礁 ☎ 09912-4-2075

民宿浜坂荘 ☎ 09912-4-2204

とから荘 ☎ 09912-4-2200

みずほ荘 ☎ 09912-4-2203

### 観音堂と大鍾乳洞



琉球石灰岩質の宝島にはたくさんの鍾乳洞があります。この鍾乳洞に、キャプテンキッドの財宝が隠されている伝説もあります。中でも、この「観音堂」と呼ばれる鍾乳洞がもっとも大きく、奥行きは400mとも500mとも言われ、かつて「トカラ神道」と呼ばれた信仰の島内最大の拝所になっています。

### 大龍海水浴場(キャンプ場)



前龍漁港から車で約5分ほど走らせると、入り江を利用した海水浴場が見えてきます。白い砂浜とエメラルドグリーンの海は、南国ムードがあふれていて気分も爽快。敷地内にはキャンプ場やトイレ・シャワー施設、炊事場も併設して便利です。

### イギリス坂



前龍漁港から集落へ向かう途中の坂のことです。文政7年(1824)イギリス船が宝島沖に現れ、数人のイギリス人が小船で上陸し、食用の牛を求めましたが断られ、逆恨みしたイギリス人は銃を乱射して牛3頭を強奪しました。その後藩庁から島に来ていた役人らが応戦し、イギリス人の一人を射殺しました。その現場一帯はイギリス坂と呼ばれ、このことがきっかけで、翌年に「異国船打払令」が出されたといわれています。

### 荒木崎灯台



集落から南へ15分位車を走らせると、城之山牧場があります。柵を越えると、敷地内には灯台の入り口付近には平家の砦に石碑があります。ここからは、どこまでも続く青い空と海が一望でき、かごしま百景にも選ばれたビューポイントになっています。

### 前龍漁港



港には、海中都市をイメージした巨大な壁画があります。ここを訪れた人々は、まずこの壁画を見て感激します。